

人情味厚く、誰に対しても誠心誠意、公平無私でありました大和田委員長の逝去に接し無限の悲しみをこめ謹んで哀悼の意を表します。

全国金属機械労働組合港合同執行委員会

# 港合同

全国金属機械労働組合 港合同  
大阪市港区南市岡3-6-26  
TEL 06-6583-4858  
FAX 06-6583-4600



港合同執行委員会は、無限の悲しみを堪えながら、田中機械支部・大和田幸治委員長の急逝をご報告申し上げますと共に、故人の遺志を引き継ぎ、勇気と確信を持って港合同の組織充実と争議支部闘争の前進に向け奮闘する事を心新たに決意する

ものです。

去る三月十七日午前八時十分、大和田幸治委員長は帰らぬ人となりました。余りに突然の事、多くの組合員が茫然自失となりながらも、ひと時も立ち止まる事が許されない中で、日々の生産に、組合活動に奮闘してまいりました。

三月十八日の通夜式、十九日の告別式には全国津々浦々から、各界・各方面より弔問に駆けつけていただきました。私どもは限りなく勇気付け

れたものでした。

私どもは、故大和田幸治委員長が六〇年を超える労働運動の中で、不屈の精神とたゆまぬ努力によって築き上げられた港合同を守り抜く事で、委員長より受けた恩顧に幾分たりとも報いるべく、組合員一同、決意を新たにしているところです。

ここに改めまして、故大和田幸治委員長に寄せられた皆様方の多大なるご支援とご厚情に衷心から厚く御礼申し上げますと共に、今後とも港合同への倍旧のご支援とご指導、ご鞭撻を賜りたく、伏してお願い申し上げます。

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

## 追悼の辞

春も近しいという時、大和田委員長の逝去に遭い、組合員一同哀惜の情に堪えません。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

病と闘いながら別れの直前まで、労働委員会の準備書面を書き、前々日(十五日)の朝も組合員と電話で会話をしておりましたので今はただ驚くばかりです。

ふり返れば生を受けて以来、激動の時代を過ごしてこられました。戦中は住友プロペラへ学徒動員、四六年に田中機械の前身である三菱化工機に

入社し、以降六十六年間に現役の指導者として絶えず先頭に立って活動してこられました。

とりわけ同盟から総評に加盟をした田中機械支部は、資本の手による分裂策動・ロックアウトに勝利し、「受けた支援を運動で返す」との方針の下、支部は事務局を担い、支部の委員長を務める中で、港合同では自ら事務局長を務めてこられました。

細川鉄工支部の闘いでは、労働争議にガードマンを導入してはならないとする「ガードマン規制法」を策定させ、大阪府との間で不当労働行為企

業に対する公共事業の発注停止、表彰の中止を約束させ、今なお成果として生かされていることは労働組合の財産です。

地域に打ってでた七十年代は、組合結成・倒産・組合つぶしの攻撃が続発しました。

支部はオルグ団を編成し、青年部はそれぞれの支部への泊り込み体制を堅持しました。

組合は自主生産体制を堅持し、地域の仲間と一体となって勝利を収めてきました。会社が倒産したら組合も解散するといふ、これまでの概念を変え、今も田中機械支部をはじめ、多くの支部で実

践されています。

国鉄労働組合潰しのための分割・民営化攻撃には、中曽根元総理を相手にした不当労働行為の申立等、始終、敵に勝つためにはどうしたらいいかということばかりを考え、闘争中の仲間には「どんなに強大な資本であっても必ず弱点はある」と絶えず言われていました。

日夜、知恵を使って裁判や労働委員会闘争を展開する闘い、独創的な感覚と洞察力、経験に基づく分析力は超人的で政治・経済問題は仕事柄当然としても、豊富な知識は、動物・植物・スポーツ・

芸能問題にいたるまで直近の情報が頭にはいついて、どんな会話にも誰とでも対応できる見識と柔軟さがありました。驚くことは、何百という個別争議の局面、日時が全て頭に入っており、当該支部に聞くよりも委員長に聞いたほうが正確で早いというのが定説で、いやな顔ひとつせず教えてもらったのも一度や二度ではありません。近々は、市長に就任した橋下の言動に腹を立て、「あんな若僧になめられて組合は何しとんねん」「なんぼでも喧嘩できるやないか」「橋下という奴は人間味が一つもない

やつや」と人格を無視した橋下の言動に怒っていましたね。

三月九日、港地区平和人権連帯会議での講演がよもや最後になるとは夢にも思いませんでした。しっかりと受け止めていかなければならないと感じています。

長く厳しかった冬もようやく桜の咲く季節になりました。

委員長とのお別れがいつの日か来るものとは知りながらも、いざこうしてお別れの日が来ればそ

れを信じたくない気持ちでいっぱいです。

今は大和田委員長の残された功績を末永く継続し、信念と指針を必ずや受継ぎ、更なる発展へ邁進する覚悟です。安らかにお眠りください。

合掌

港合同副委員長

中村吉政

【お断り】日常的には事務局長という言い方はせずに委員長という呼び方で接して来ましたので「委員長」で呼ぶことにしました。

## 人類の未来のために原発はいらない！橋下市政の団結権破壊を許さないぞ！ 第83回怒りの港地域メーデー

【日時】5月1日(火) 10:00～開会

【場所】入舟公園(港区八幡屋)

【主催】金属機械港合同/NPOみなと

【第2部交流会】12:20頃より

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！